

岡山県社会資本総合整備計画(防災砂防課)



■計画の名称及び期間

【ハード対策】

- ・岡山県における土砂災害対策の推進(防災・安全)
平成27年度～平成31年度(5年間)
- ・岡山県における土砂災害対策の推進(防災・安全)重点
平成28年度～平成31年度(4年間)

【ソフト対策】

- ・土砂災害防止法の基づく基礎調査の推進(防災・安全)
平成31年度～令和5年度(5年間)

■計画の目標

近年増加傾向にある集中豪雨や台風などによる土砂災害リスクの増大に対し、土砂災害対策(ハード・ソフト)の推進を図ることにより、土砂災害に強い地域づくりを進めるとともに、県民生活の安全・安心の確保を図ることを目標としています。

■重点化の項目

1. 要配慮者利用施設(24時間滞在型)の安全確保のための施設整備
2. 防災拠点(避難場所等)の安全確保のための施設整備

■計画の成果目標(定量的指標)

重点計画

指標①: 土砂災害危険箇所のうち、重点箇所の安全確保ができる箇所数
170箇所 → 183箇所(13箇所増)

指標②: 指標①のうち、要配慮者利用施設(24時間滞在型)の完全確保ができる箇所数
31施設 → 37施設(6施設増)

指標③: 指標①のうち、防災拠点(避難場所)の安全確保ができる箇所数
142箇所 → 150箇所(8箇所増)

ハード対策

一般計画

指標①: 土砂災害危険箇所のうち、重点箇所以外の安全確保ができる箇所数
1,362施設 → 1,389施設(27施設増)

指標②: 指標①のうち、重点箇所以外の要配慮者利用施設の安全確保ができる箇所数
29箇所 → 33箇所(4箇所増)

指標③: ①のうち重要交通網の安全確保ができる箇所数(県道以上)
418箇所 → 436箇所(18箇所増)

ソフト対策

指標①: 土砂災害警戒区域の調査実施率
100%
(地形改変等による調査対象箇所は随時実施)

指標②: 土砂災害特別警戒区域の調査実施率
76% → 100%

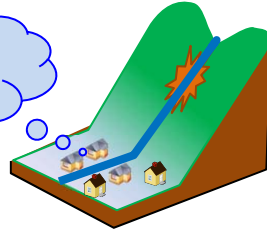


■代表的な整備イメージ

【ハード対策】

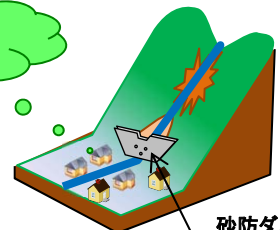
●砂防事業

谷が荒廃して、
土石流が心配



整備後

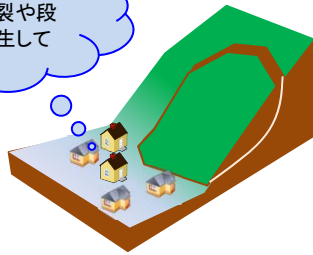
工事が出来て
よかった!



砂防ダム

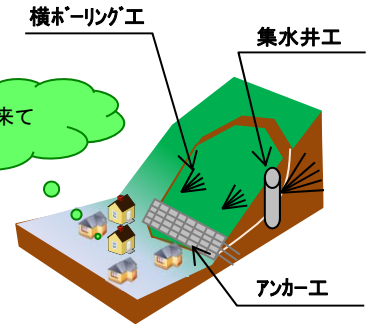
●地すべり対策事業

山に亀裂や段
差が発生して
心配



整備後

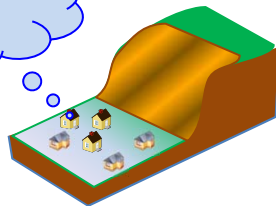
工事が出来て
よかった!



アンカー工

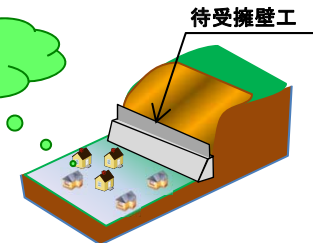
●急傾斜地崩壊対策事業

がけ崩れが
心配



整備後

工事が出来て
よかった!

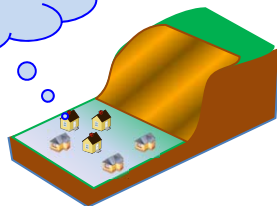


待受擁壁工

【ソフト対策】

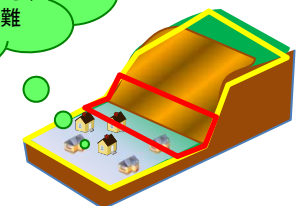
●基礎調査

裏山は
大丈夫?



整備後

危険な箇所である
ことが分かったから、
大雨の時には避難
する!



土砂災害警戒区域等の指定